



全 PSI 加盟組合宛 コミュニケ - 2016 年 5 月 30 日

国際公務労連第 148 回執行委員会 2016 年 5 月 19 日 - 20 日

姉妹兄弟のみなさんへ、

国際公務労連第 148 回執行委員会 (EB) は 5 月 19 日 - 20 日に会合し、前回の EB 以降の進展を評価して今後の優先事項と行動を決定しました。詳細な活動報告を受け、14 の新規加盟組合を歓迎し、2016 年の修正予算案を承認し、2015 年の黒字に留意し、2017 年世界大会の準備の進捗について議論しました。

2015 年の EB-147 では、PSI が民営化や有害な貿易協定そして多国籍企業の税逃れとの闘いにおけるグローバルリーダーとしての地位を確立してきたこと、ILO においてストライキ権攻撃に対する強力な立場をとっていること、そしてエボラ感染症に対する PSI の介入戦略を進めていることについて報告を受けました。EB-148 は、これらの分野やその他の分野における以下のような広範な活動に留意しました。

- 民営化に関する PSI のグローバルリーダー会合は 2015 年 12 月にワシントンで開催され、民営化に対するグローバルな闘いを強化する方法と、その後の PSI 反民営化ニュースレター「Privatization Watch (民営化の監視)」の発行について検討した
- 書記長が、フランソワ・オランド仏大統領とジェイコブ・ズーマ南ア大統領が議長を務める保健分野の雇用と経済成長に関する新国連ハイレベル委員会の委員に任命された
- ニューヨークにおける国連エボラ会議に参加した、そしてシエラレオネ、リベリア及びガーナからの参加者によって構成される使節団を率いて米国議会、公衆衛生局長官、世界銀行および USAid に対するロビー活動を行った
- 書記長は、広く報じられた国際企業課税の改革を求める独立委員会 (ICRICT) のグローバル宣言の立ち上げにジョゼフ・スティグフリッツ、ホセ・オカンボおよびエヴァ・ジョリと共に参加した
- 税に関するグローバル労働者サミットを開催した、これはグローバル労組と市民社会のリーダーが、応分の税を企業に支払わせるためのグローバルな合同プログラムを進めるために集まった史上初の会合で、これには ITF と+合同でシェブロン社による納税回避の実態を暴露することも含まれる。
- 23 万人のカナダ連邦職員に代わって ILO に提訴した、そして英国の労働組合法案に反対する英国の加盟労組を支持した。
- 移住者を歓迎する公共サービスのセミナーを 3 月 14 日 - 16 日にブラッセルで開催し、移住と難民の流れに対応する公共サービス労組の役割をどのように高めるかについての議論を開始した
- 2015 年 11 月 18 日に運営委員会で支持された地方・地域政府行動計画実施の進展
- これまでで最大の貿易文書漏えいの分析と公表に参加し、秘密のサービス貿易協定 (TISA) を暴露した
- 10 か国以上で貿易協定反対の国内キャンペーンを計画し、ウルグアイとパラグアイの両国ではキャンペーンが成功して TISA 交渉からの脱退を決めるに到った

- 国連の持続可能な開発目標の設定に際して、開発の一手段としての民営化への言及を取り除こうとした
- COP21 のイベントに参加し、TISA が気候変動への対応能力を損ねることを示す分析を発表して、ガーディアン紙などの新聞やソーシャルメディアでも広範に取り上げられた

EB-148 は、数十年間の自由化による経済的影響と不平等の拡大が労働者の間に怒りを生み、ポピュリストや右翼そしてしばしば人種差別的な政策が台頭するなどの広範な政治的動向に注目しました。EB は、こうした政治的な変化に直面するなかでの難民の人権擁護における組織労働者の責任に言及しました。

EB-148 は、国際標準化機構 (ISO) の労働安全衛生基準草案が最近拒否されたことを、ILO がグローバルに国連機構のなかで労働者のための新基準作りにより乗り出す良い機会として、肯定的に捉えました。

EB-148 は、ブラジルで「国会のクーデター」によって正当な大統領であるジルマ・ルセフに対する弾劾手続きに到ったことに深い憂慮の念を表明しました。新自由主義の保守派国会議員が、非常に激しい行政論争と不明朗な法的手続きに基づいてルセフ大統領を解任するためのキャンペーンを率いてきました。政治的な闘いを越えて、保守勢力によってブラジルの民主的制度が攻撃されていると EB は考えます。

EB-148 は、過去 15 年にわたって国内で進められてきた、4 千万人以上のブラジル国民を貧困と飢餓から救った所得再配分プログラムを含む公共政策に対する強力な攻撃に現在直面しているブラジルの労働者と労働組合への連帯を表明しました。PSI はブラジルの加盟組合に寄り添い、彼らの闘いを支持します。

EB-148 は、今後の PSI の優先的活動分野について議論し、以下のことを含む今後の活動を承認しました。

- ワシントン・リーダー会合から出てきた反民営化闘争計画と、民営化に関する情報を集めて、配布するためのインターネット上の基盤を作る
- 移住と難民に関して、証拠基盤を築き、すべての労働組合へのメッセージを広め、ILO へのかかわりを続けるような活動を行う
- ILO 総会への PSI の参加、グローバルバリューチェーンに関する討議、基準適用委員会でのアルジェリア、グアテマラ及びトルコに関する討議の促進
- 若年労働者の戦略と PSI 若年労働者大学のための提案。
- 2017 年世界大会に向けて、PSI の成功事例に光を当て、より良い世界を作り、どうしたら私達がより強力になるかを示すうえで公共部門組合が果たす役割を強調する大会になるよう準備する。
- 2017 年の世界大会に先立って、規約改正の作業を規約作業部会に委ねることによって PSI 規約を強化し、民主化する

用意ができ次第、全 PSI 加盟組合がウェブサイト上で議事録を見ることができます。

今回の執行委員会 EB-149 は 2016 年 11 月 22 日-23 日に会合します。この直前に大会議事運営委員会と規約作業部会も開かれます。

ローザ・パヴァネリ